

北上市の拠点間交通として位置づけられている「おに丸号」は、現在7路線を運行しており、令和7年4月からは口内線が平日毎日運行となり、他6路線は隔日運行となっている。

利用者の多くは高齢者であり、免許返納などにより自家用車を利用できない方々が、まちなかへの買い物や通院の手段として利用している。また、北上市地域公共交通計画2026-2030の策定に当たり実施した地域ヒアリングでは、多くの地域から平日毎日運行化を望む声が寄せられた。こうした背景を踏まえ、平日毎日運行化や路線・ダイヤの見直しを通じて利便性の向上を図り、自家用車を利用できない方々の日常生活に必要な移動手段を充実させていく。

また、通勤・通学利用を含め、多様な世代が利用しやすい公共交通として機能強化を図ることで、地域全体の移動手段の充実につなげるため、平日毎日運行への拡充を検討するものである。

1 おに丸号平日毎日運行化の目的

- ① 拠点間交通としての利便性・品質の向上
- ② 通勤・通学の交通手段の充実と朝夕の道路混雑緩和
- ③ 運転できない方々の交通手段の充実

2 各路線平日毎日運行化の実施年度(案)

実施年度	路線名	運行事業者	理由	ターゲット
令和9年度	稲瀬線	北上地区タクシー業協同組合	通学手段、また観光地への移動手段として利用できることに加え、比較的運転士に余裕があり、運行の可能性がある。	通学・通勤の需要に対応 展勝地の移動手段の確保による通年観光化
令和10年度	相去線	東日本交通(株)	運転士不足であるが、相去線と鬼柳線を統合すれば実現可能であるが、地域との協議に時間を要する。	通勤・通学の需要に対応
令和10年度	鬼柳線	東日本交通(株)	運転士不足であるが、相去線と鬼柳線を統合すれば実現可能であるが、地域との協議に時間を要する。	通勤・通学の需要に対応
令和10年度	立花岩崎線	北上市	路線延長実施の経過を確認ため、令和9年度の利用状況を踏まえて検討する。	通院・買い物など生活路線としての機能向上
令和11年度	飯豊黒岩線	岩手県交通(株)	運転士不足であること、路線延長が長いことから事業者との協議に時間を要する。	まちなか～中部病院へのアクセス向上
令和11年度	二子更木線	岩手県交通(株)	運転士不足であること、路線延長が長いことから事業者との協議に時間を要する。	まちなか～中部病院へのアクセス向上

3 スケジュール

路線名	令和8年度				令和9年度				令和10年度				令和11年度			
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
稲瀬線	関係者協議		新年度予算		公共交通会議											
	方針検討		運輸局手続き		運行開始											
相去線 鬼柳線					関係者協議		公共交通会議									
					方針検討		運輸局手続き		運行開始							
					新年度予算											
立花岩崎線					関係者協議		新年度予算		公共交通会議							
					方針検討		運輸局手続き		運行開始							
飯豊黒岩線									関係者協議		公共交通会議					
二子更木線									方針検討		運輸局手続き		運行開始			
									新年度予算							